



パラオ通信 第7号

2023/3/22 Wed

文責：山本

# いこうぜ、ラスト1年！

早いもので3月も半ばを過ぎ、厚南中学校の1年が終わろうとしていますね。今年度はどんな1年でしたか？新学期を迎える頃にはそれぞれ学年が上がり、より学校を引っ張っていく立場になると思います。東の間の春休みですが、心と体をしっかり休めながら、新学期に向けて英気を養ってください。

私もあっという間に、帰国まであと1年というタイミングを迎えました。パラオに来て、もうすぐ8ヶ月になります。来て最初の頃は見るもの、出会うこと全てが新しく、毎日が新鮮に思えていましたが、8ヶ月目にもなると見慣れたものや顔なじみの人との日常の繰り返しです。きっと、みんなの学校生活も同じなのではないかなと思います。最初は新しいことが始まるドキドキワクワクの気持ち。それが過ぎると、同じメンバーでの日常が続きます。その日常をいかに楽しく過ごそうとするか、気持ちの持ちよう一つで時間は輝きもするし、暗く見えたりもします。今まではなかった場所に、自分のいる日常があることに感謝をしながら、一日一日を大切に過ごしていきたいなと思いました。

さあ、2年生はお互いに今の場所で過ごす最後の1年ですね。自分次第で、どんな1年にだってできる！そう信じて、最高の日々を過ごしましょう(^^)／



## 【パラオ日記】

★3月13日～17日の1週間、「Cultural awareness week」と題して、各学校でパラオ国内外の文化や伝統を紹介するイベントが行われていました。ある学校では、JICAの隊員が中心となり日本についての紹介として書道や箸つかみ体験、餅つきなど生徒が楽しめるイベントがたくさん実施されました！また、コロール小学校（2年生がオンライン交流した学校）では、高学年の生徒によるパラウワンダンスの発表が行われていました。



杵と臼を使っての本格的な餅つき！  
パラオ人のパワーで杵にヒビが入る  
ハブニングも。その後はみんなでおいしくお餅をいただきました(^^)／



習字の合間に箸つかみ体験も！  
小豆をつかむのに真剣な様子。  
高学年はみんな上手に箸が使えていました！素晴らしい！



好きな英単語を選んでもらい、それを日本語にしていちいち書く作業。  
なぜか選ばれたのは椅子…(笑)



パラオの伝統的な衣装に身を包んだ8年生女子のパフォーマンス。みんなとっても美しく、素敵なダンスでした◎



ヤシの葉のスカートを着ています↑

# パラオでの根強い日本人気！



3月19日、パラオで日本フェアという日本の文化や伝統を紹介するイベントが開催されました。昨年はコロナの関係もあり、オンラインでの開催だったということで、2年ぶりの有観客開催！当日は大きな会場を埋め尽くすほどの人が来場され、色んな人たちが日本フェアの開催を待ち望んでくれたのだということが分かりました。

ソーラン節のパフォーマンス



日本フェアでは JICA ボランティアとして、ステージでのパフォーマンスと日本の文化や伝統について紹介するブースの運営を行いました。パフォーマンスはソーラン節を披露し、炭坑節（福岡県民謡）に合わせた盆踊りを観客の方々と一緒に踊りました。

その後は、書道・折り紙・日本の遊びなど、いくつかのブースに分かれて日本の文化を体験してもらいました。私は日本の遊び紹介を担当しましたが、花札で遊んだことがある、ルールを知っているというパラオ人が多くいることにびっくりしました！



花札実演中

▼JICA ボランティア以外にも、日本から来られた先生による生け花のパフォーマンス、日本語補習校の生徒による歌と手話のパフォーマンス、柔道を習っている子どもたちによるパフォーマンス、パラオ高校の生徒による浴衣ショーなど、様々な人たちが日本の文化についての紹介をしていました。パラオ中からたくさんの方々が来てくれて、日本文化を楽しんでくれている様子を見て、改めて日本に誇りを感じました。

